

令和2年7月 九州豪雨地盤災害調査状況報告 調査方針

地盤工学会九州豪雨地盤災害調査団長

椋木俊文 (熊本大学・くまもと水循環・減災研究教育センター)



熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター
Center for Water Cycle, Marine Environment and Disaster Management

謝辞

調査のために情報提供いただいている
国土交通省九州地方整備局、
熊本国道河川事務所道路課、
熊本県土木部

八代地域振興局、球磨地域振興局
玉名地域振興局、芦北地域振興局
砂防課、農林部

福岡県土木部、大分県土木部
宮崎県土木部、鹿児島県土木部

に謝意を表します。

調査団結成まで

7/4 発災

7/5 調査団先遣隊発足

熊本県テックドクターとして芦北周辺を調査 (熊本大学)

7/6 本部より調査団発足依頼あり (組織編成開始)

7/8 熊本・津奈木・芦北方面斜面災害調査 (熊本大学)

鹿児島県薩摩川内市 百次川堤防被災調査

鹿児島県長島町の道路損壊調査 (鹿児島大学)

宮崎県西米良村付近、都城の道路損壊調査 (宮崎大学)

7/9 鹿児島県鹿屋市、肝属郡錦江町 道路損壊調査 (鹿児島大学)

7/13 調査団発足 (団長・副団長・幹事長会議)

7/16 熊本県北部土石流災害調査 (熊本大学)

7/17 調査団幹事会



ずっと雨

調査団構成

コロナウイルス感染拡大防止の観点から、
基本的に越県調査はせず、各地域の団員で調査 (自治体と連携)

7/17 第一回幹事会開催

災害連絡調整会議本部連絡委員：岸田潔総務部長 (京都大学)
災害連絡調整会議九州地方連絡委員：安福規之 (九州大学)

団長：椋木俊文 (熊本大学)

副団長：末次大輔 (宮崎大学)

幹事長：酒匂一成 (鹿児島大学)

幹事：

(熊本・鹿児島・宮崎グループ)

福林良典 (宮崎大学)

(福岡・大分グループ)

石藏良平 (九州大学)

工藤宗治 (大分工業高等専門学校)

(佐賀・長崎グループ)：

日野剛徳 (佐賀大学)

杉本知史 (長崎大学)

他九州各地域から
合計30名程度の調査団を結成

調査方針 (壊れていないインフラもチェック)

現地調査

- 1. **斜面崩壊** : 崩壊メカニズム (表層、深層、地すべり、土石流など)
- 2. **道路損壊** : 損壊メカニズム (崩壊発生因子に斜面崩壊を含むか?)
- 3. **河川堤防** : 損傷メカニズム (逆越流・パイピング)
- 4. **橋梁基礎** : 損傷メカニズム
- 5. **二次災害の危険個所の特定** (自治体と連携)

分析方針 (入力条件、境界条件を確認)

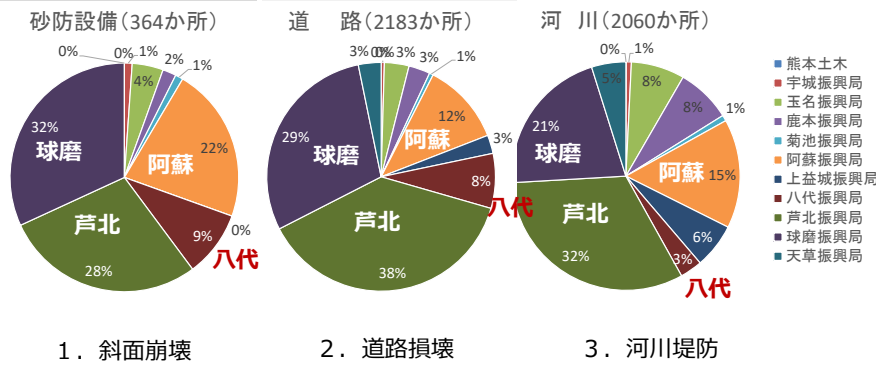
- 1. **気象履歴** (降水量、土壌雨量指数、気温)
- 2. **災害履歴**
- 3. **地質・地形** (風化土? , 火山灰質粘土? **九州地盤情報データベースの活用**)
- 4. **これまでの報告書・提言書のチェック**

活動状況

- ▶ **月一回**の幹事会と幹事長を筆頭とした各地域でのワーキング打ち合わせを実施
- ▶ 情報伝達には調査団専用の**Slack** (ビジネスチャット) を立ち上げ、情報共有には**OneDrive**を使用

熊本県 令和2年7月豪雨に係る災害対策本部会資料 (第27回) PDF資料 (第3報) より (調査度85%)

令和2年8月20日に公表



1. 斜面崩壊 2. 道路損壊 3. 河川堤防

本日の報告内容

9

- ▶ 13:45～13:55 (10分) **気象関連**

村上哲 (福岡大学 教授)

九州南部 各種被災事例 (7/4)

- ▶ 13:55～14:15 (20分) **斜面崩壊 (熊本・鹿児島)**

椋木俊文 (熊本大学 教授)

- ▶ 14:15～14:35 (20分) **道路被災 (熊本・宮崎・鹿児島)**

福林良典 (宮崎大学 准教授)

- ▶ 14:35～14:45 (10分) **河川堤防 (熊本)**

脇中康太 (熊本高等専門学校 助教)

本日の報告内容

10

- ▶ **九州北部 各種被災事例 (7/6)**

- ▶ 15:10～15:30 (20分) **斜面崩壊・道路被災 (福岡・大分)**

村上哲 (福岡大学 教授)

- ▶ 15:30～15:45 (15分) **河川堤防 (福岡)**

石藏良平 (九州大学 准教授)

- ▶ 15:45～16:05 (20分) 質疑応答

- ▶ 16:05～16:30 (25分) **総括および今後の指針**

岡村未対 (地盤工学会 副会長)